

健康チャレンジ 10 か条推進状況

【事業の目的】

市民（地域）の主体的な健康づくりを促進するため、健康チャレンジ 10 か条の普及と実践を推進する。

【今年度の取組について】

○若い世代の 10 か条の認知・実践の促進

- ・夏休み前に小学校高学年向けのリーフレット作成・配布
校長会、養護部会での趣旨説明及び実践等の情報収集
- ・婚姻届け提出者に減塩や肥満対策への健康啓発物品の交付

○若い世代が目にする媒体（SNS など）の活用

- ・ふくおか健康ポイントアプリでの 10 か条関連情報の発信
- ・YouTube 活用した簡単レシピの動画配信

○出前講座等における情報発信

- ・健康測定結果を基に、他人事から自分事への意識を促した

○広報誌への掲載（資料 5-3、5-4 参照）

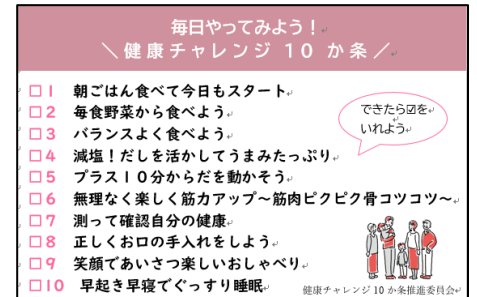
○市民による啓発（健康チャレンジ 10 か条推進委員会（委員数 10 名・10 団体）、健康づくり等関連サポーター活動等）

【今年度の新たな取組】

- ・健康チャレンジ 10 か条啓発カードやシールの作成及び配布（※）
市民の声から、気軽に持ち歩きいつでも見られて気軽に渡せる手のひらサイズに健康福祉まつりなどの健康イベントに参加した子どもたちへシールを配布
- ・健康チャレンジ 10 か条の啓発パンフの拡大パネルを作成し、出前講座会場へ持参講話での使用や健康測定での待ち時間に読んでもらえるように配置も工夫した

【課題】

- ・若い世代向けに SNS 等を活用した啓発を行ったが、発信に対する反応の確認が難しく、手ごたえを感じることで、活動の評価に労力と時間を要する。（市民アンケート集計中）
- ・高齢者においては、SNS の活用ができる人が少ないと思われ、出前講座や広報等での情報発信を行っているがアンケート結果などから周知の程度は高くない状況。読み流される記事になっていないか等見直しが必要。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、対面でのイベントが減少傾向。コミュニケーションを取りながら反応を得る機会も少ない。



※配布した啓発カード(上)・シール(下)